

令和6年1月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

令和6年1月分について、輸出額は「原動機」などが減少したものの、「自動車」、「有機化合物」などが増加したことから、対前年同月比 21.2%の増加となった。また、輸入額は「石油製品」、「液化石油ガス」などが増加したものの、「液化天然ガス」、「石炭」などが減少したことから、同 8.4%の減少となった。
その結果、差引額は1,003億円（同 24.6%の減少）の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	879億円	+21.2%	1,883億円	▲8.4%	▲1,003億円	▲24.6%
	6カ月連続の増加		3カ月ぶりの減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車	100億円	+150.3%	輸入	増加品目	(1) 石油製品	97億円	+57.5%
		(2) 有機化合物	64億円	+31.8%			(2) 液化石油ガス	105億円	+45.9%
		(3) 電気回路等の機器	67億円	+26.3%			(3) 石油コークス	34億円	+733.1%
	減少品目	(1) 原動機	12億円	▲27.8%		減少品目	(1) 液化天然ガス	310億円	▲25.5%
		(2) その他の化学製品	19億円	▲18.7%			(2) 石炭	46億円	▲64.6%
		(3) 鉱物性タール及び粗製薬品	41億円	▲9.0%			(3) 原油及び粗油	991億円	▲7.3%
地域別動向	西欧、アジアが増加、中南米は減少				地域別動向	大洋州、中東が減少、北米は増加			

(参考) ドルレートは、143.95円（前年同月比9.0%、11.87円の円安）であった。

(注) 月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注) 本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。